

世帯属性別にみた貯蓄・負債の状況

1 世帯主の年齢階級別

(1) 世帯主が50歳未満の世帯では負債現在高が貯蓄現在高を上回る

二人以上の世帯について世帯主の年齢階級別に1世帯当たり貯蓄現在高をみると、40歳未満の世帯が691万円と最も少なく、60歳以上の各年齢階級では2000万円を超える貯蓄現在高となっている。

負債現在高をみると、40歳未満の世帯が1341万円と最も多く、年齢階級が高くなるに従って負債現在高が少なくなっている。また、負債保有世帯の割合は、40～49歳の世帯が66.2%と最も高く、40歳以上の世帯では年齢階級が高くなるに従って割合が低くなっている。

純貯蓄額（貯蓄現在高 - 負債現在高）をみると、50歳以上の各年齢階級では貯蓄現在高が負債現在高を上回っており、70歳以上の世帯の純貯蓄額は2183万円と最も多くなっている。一方、50歳未満の世帯では負債現在高が貯蓄現在高を上回っており、負債超過となっている。

(図 - 1 - 1, 表 - 1 - 1)

図 - 1 - 1 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高，負債保有世帯の割合  
(二人以上の世帯) - 2019年 -

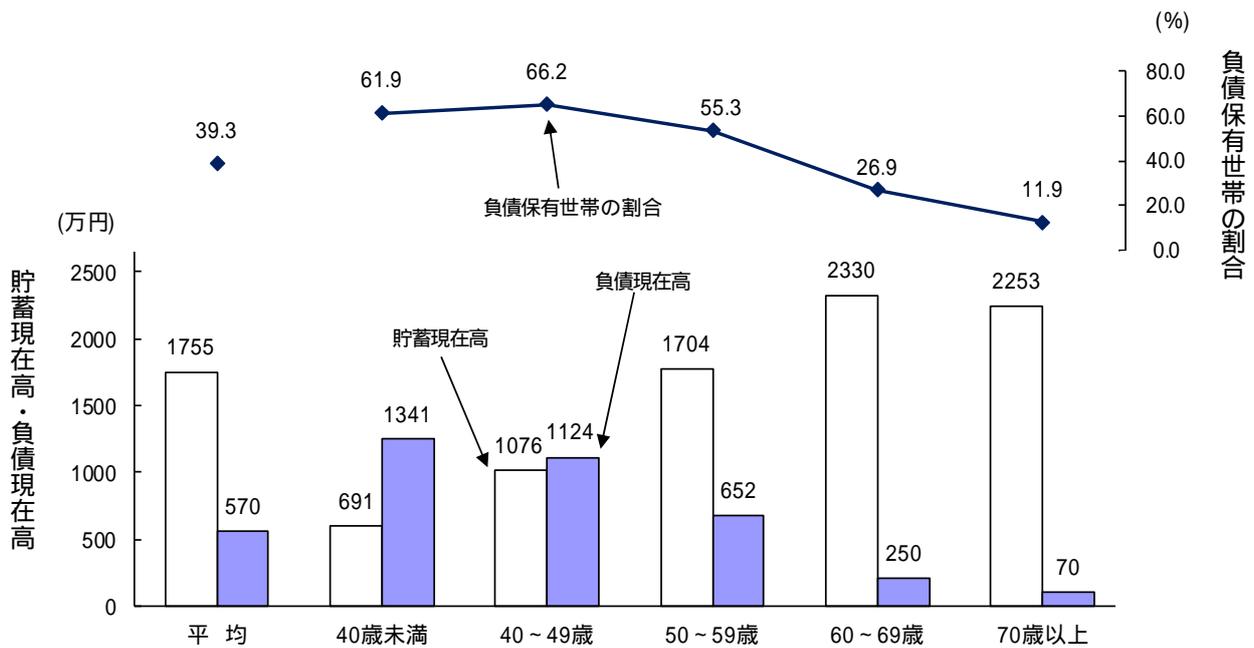


表 - 1 - 1 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高の推移（二人以上の世帯）

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
貯蓄現在高(万円)						
2014年	1798	562	1030	1663	2484	2452
2015	1805	608	1024	1751	2402	2389
2016	1820	574	1065	1802	2312	2446
2017	1812	602	1074	1699	2382	2385
2018	1752	600	1012	1778	2327	2249
2019	1755	691	1076	1704	2330	2253
対前年増減率(%)						
2015年	0.4	8.2	-0.6	5.3	-3.3	-2.6
2016	0.8	-5.6	4.0	2.9	-3.7	2.4
2017	-0.4	4.9	0.8	-5.7	3.0	-2.5
2018	-3.3	-0.3	-5.8	4.6	-2.3	-5.7
2019	0.2	15.2	6.3	-4.2	0.1	0.2
年間収入(万円)						
2019年	629	635	767	852	590	435
貯蓄年収比(貯蓄現在高/年間収入)(%)						
2019年	279.0	108.8	140.3	200.0	394.9	517.9
負債現在高(万円)						
2014年	509	934	1051	654	213	78
2015	499	942	1068	645	196	83
2016	507	1098	1047	591	220	90
2017	517	1123	1055	617	205	121
2018	558	1248	1105	683	207	104
2019	570	1341	1124	652	250	70
対前年増減率(%)						
2015年	-2.0	0.9	1.6	-1.4	-8.0	6.4
2016	1.6	16.6	-2.0	-8.4	12.2	8.4
2017	2.0	2.3	0.8	4.4	-6.8	34.4
2018	7.9	11.1	4.7	10.7	1.0	-14.0
2019	2.2	7.5	1.7	-4.5	20.8	-32.7
住宅・土地のための負債(万円)						
2014年	458	883	975	558	178	59
2015	446	896	994	536	158	63
2016	452	1041	974	490	182	62
2017	463	1057	988	540	162	86
2018	501	1184	1031	588	163	75
2019	518	1283	1052	578	190	51
負債保有世帯の割合(%)						
2014年	37.8	54.9	62.3	53.1	26.1	11.8
2015	38.1	52.6	64.6	54.6	27.1	12.4
2016	37.3	57.7	62.8	52.9	27.1	11.2
2017	37.5	59.3	64.8	53.2	26.3	11.4
2018	39.0	61.5	65.4	53.5	26.8	12.5
2019	39.3	61.9	66.2	55.3	26.9	11.9
純貯蓄額(貯蓄現在高 - 負債現在高)(万円) <sup>1</sup>						
2014年	1289	-372	-21	1009	2271	2374
2015	1306	-334	-44	1106	2206	2306
2016	1313	-524	18	1211	2092	2356
2017	1295	-521	19	1082	2177	2264
2018	1194	-648	-93	1095	2120	2145
2019	1185	-650	-48	1052	2080	2183
世帯数分布(%) <sup>2</sup>						
2019年	100.0	12.2	19.6	17.2	21.3	29.7

1 マイナスは、負債超過額を示す。

2 貯蓄・負債編は、貯蓄・負債不詳世帯を除いて集計している。このため、世帯数分布は家計収支編の世帯数分布とは必ずしも一致しない。

(2) 負債保有世帯のうち負債超過額が最も多いのは世帯主が40歳未満の世帯

二人以上の世帯のうち負債保有世帯について世帯主の年齢階級別に貯蓄現在高をみると、40歳未満の世帯が670万円と最も少なくなっているのに対し、60歳以上の世帯は1510万円と最も多くなっており、年齢階級が高くなるに従って貯蓄現在高は多くなっている。

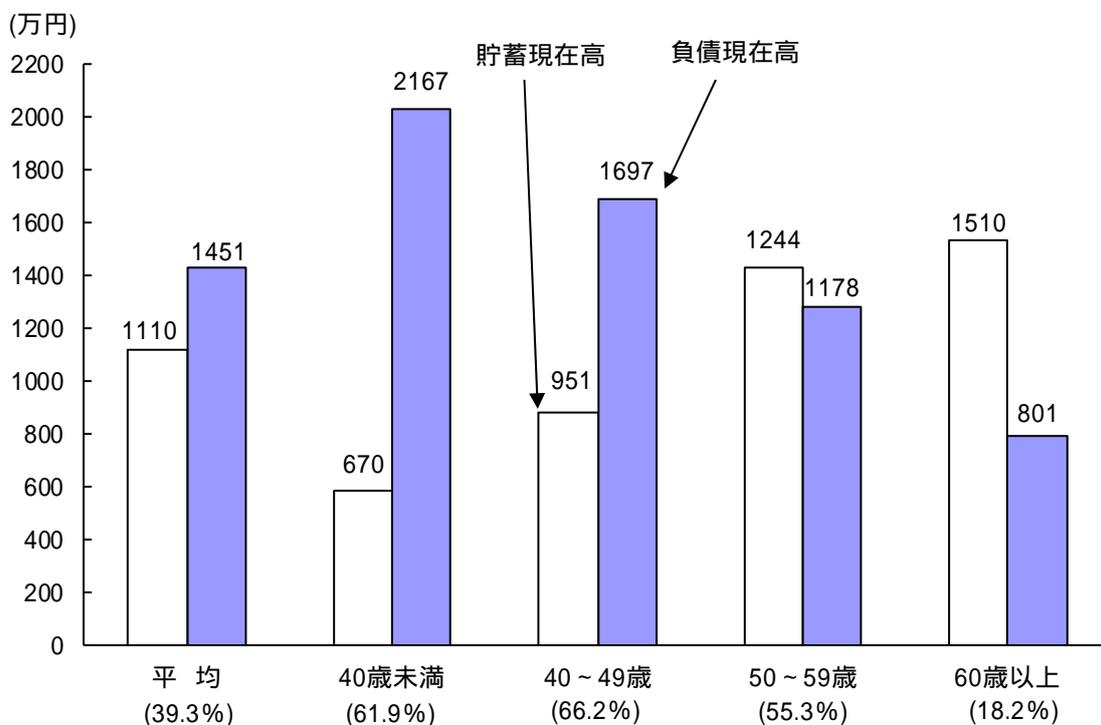
負債現在高をみると、40歳未満の世帯が2167万円と最も多く、年齢階級が高くなるに従って負債現在高は少なくなっている。

純貯蓄額をみると、50歳未満の各年齢階級で負債現在高が貯蓄現在高を上回っており、40歳未満の世帯の負債超過額が1497万円と最も多くなっている。一方、50歳以上の各年齢階級では貯蓄現在高が負債現在高を上回っており、60歳以上の世帯の純貯蓄額は709万円となっている。

40歳未満の世帯について2018年と比べると、貯蓄現在高は、前年に比べ85万円、14.5%の増加となっている。一方、負債現在高は、前年に比べ138万円、6.8%の増加となり、負債現在高の約9割を占める住宅・土地のための負債は2073万円で、前年に比べ149万円、7.7%の増加となっている。

(図 - 1 - 2, 表 - 1 - 2)

図 - 1 - 2 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高  
(二人以上の世帯のうち負債保有世帯) - 2019年 -



注) ( )内は、当該階級ごとの二人以上の世帯に占める負債保有世帯の割合

表 - 1 - 2 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高の推移  
(二人以上の世帯のうち負債保有世帯)

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60歳以上
貯蓄現在高(万円)					
2014年	1124	499	879	1286	1767
2015	1128	528	860	1324	1654
2016	1111	543	912	1346	1551
2017	1142	533	924	1414	1628
2018	1119	585	880	1428	1530
2019	1100	670	951	1244	1510
対前年増減率(%)					
2015年	0.4	5.8	-2.2	3.0	-6.4
2016	-1.5	2.8	6.0	1.7	-6.2
2017	2.8	-1.8	1.3	5.1	5.0
2018	-2.0	9.8	-4.8	1.0	-6.0
2019	-1.7	14.5	8.1	-12.9	-1.3
年間収入(万円)					
2019年	747	661	791	884	615
貯蓄年収比(貯蓄現在高/年間収入)(%)					
2019年	147.3	101.4	120.2	140.7	245.5
負債現在高(万円)					
2014年	1349	1705	1687	1231	762
2015	1310	1796	1653	1181	708
2016	1357	1898	1669	1116	810
2017	1379	1893	1629	1159	885
2018	1430	2029	1689	1277	794
2019	1451	2167	1697	1178	801
対前年増減率(%)					
2015年	-2.9	5.3	-2.0	-4.1	-7.1
2016	3.6	5.7	1.0	-5.5	14.4
2017	1.6	-0.3	-2.4	3.9	9.3
2018	3.7	7.2	3.7	10.2	-10.3
2019	1.5	6.8	0.5	-7.8	0.9
住宅・土地のための負債(万円)					
2014年	1214	1612	1566	1051	621
2015	1170	1710	1538	982	559
2016	1211	1800	1553	926	632
2017	1235	1783	1525	1015	666
2018	1283	1924	1576	1100	604
2019	1318	2073	1587	1045	601
純貯蓄額(貯蓄現在高 - 負債現在高)(万円)					
2014年	-225	-1206	-808	55	1005
2015	-182	-1268	-793	143	946
2016	-246	-1355	-757	230	741
2017	-237	-1360	-705	255	743
2018	-311	-1444	-809	151	736
2019	-351	-1497	-746	66	709
世帯数分布(%)					
2019年	100.0	19.3	33.0	24.1	23.6

マイナスは、負債超過額を示す。

## 2 年間収入五分位階級別

### (1) 年間収入が最も低い第 階級の世帯では定期性預貯金の割合が約 4 割

二人以上の世帯について年間収入五分位階級別<sup>注</sup>に1世帯当たり貯蓄現在高をみると、年間収入が最も低い第 階級(世帯主の平均年齢69.0歳)が1334万円、年間収入が最も高い第 階級(同53.0歳)が2567万円となっている。

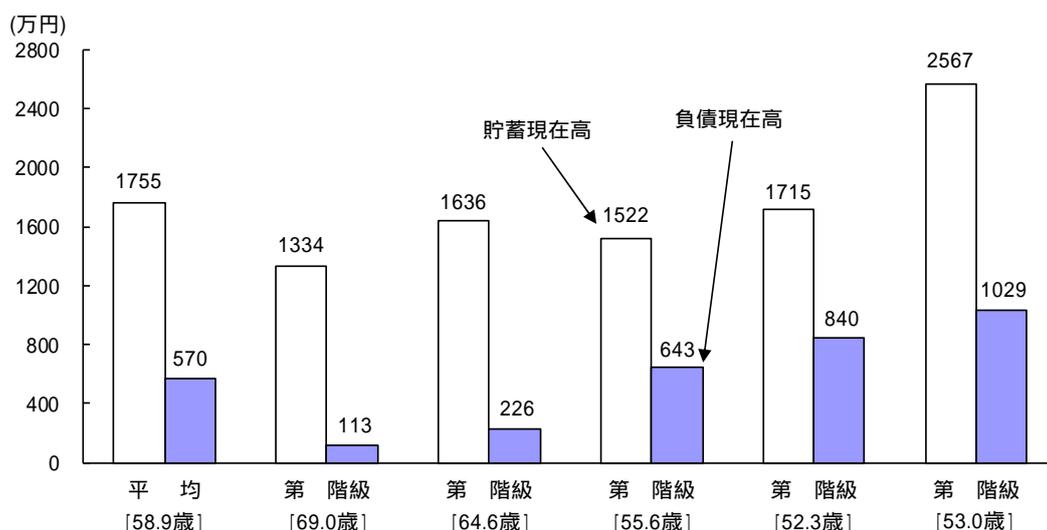
貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比をみると、通貨性預貯金は第 階級が30.2%と最も高く、第 階級が24.5%と最も低くなっている。定期性預貯金は第 階級及び第 階級が44.6%と最も高く、第 階級が29.8%と最も低くなっている。有価証券は第 階級が16.0%と最も高く、第 階級が11.1%と最も低くなっている。

負債現在高をみると、第 階級が113万円、第 階級が1029万円となっており、年間収入が高くなるに従って負債現在高が多くなっている。

(図 - 2 - 1, 図 - 2 - 2, 表 - 2 - 1)

注) 年間収入五分位階級とは、年間収入の低い方から高い世帯へと順に並べて5等分したもので、低い方から第 階級、第 階級、第 階級、第 階級、第 階級(五分位)階級という。

図 - 2 - 1 年間収入五分位階級別貯蓄・負債現在高(二人以上の世帯) - 2019年 -



注) [ ]内は、世帯主の平均年齢

図 - 2 - 2 年間収入五分位階級，貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比(二人以上の世帯) - 2019年 -

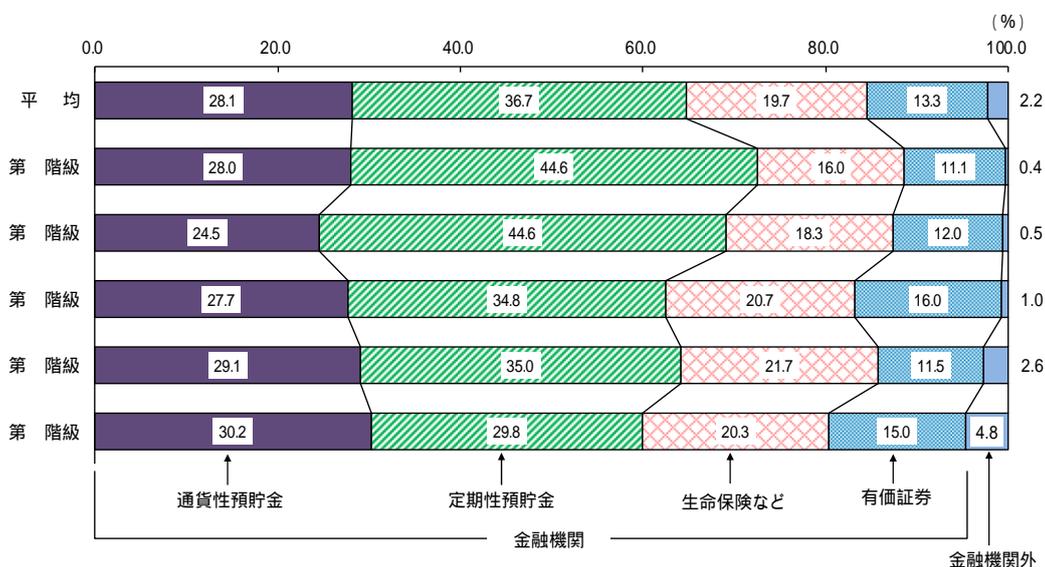


表 - 2 - 1 年間収入五分位階級，貯蓄・負債の種類別貯蓄・負債現在高

(二人以上の世帯) - 2019年 -

項 目	平 均	第 階級	第 階級	第 階級	第 階級	第 階級
		~ 329万円	329 ~ 458万円	458 ~ 625万円	625 ~ 863万円	863万円 ~
世帯人員(人)	2.99	2.41	2.70	3.06	3.30	3.47
世帯主の年齢(歳)	58.9	69.0	64.6	55.6	52.3	53.0
持家率(%)	84.8	83.5	84.6	83.1	85.1	87.9
年間収入	629	258	金額(万円) 391 539		735	1224
貯蓄現在高	1755	1334	金額(万円) 1636 1522		1715	2567
金融機関	1716	1329	1628	1508	1670	2445
通貨性預貯金	494	373	401	421	499	776
定期性預貯金	644	595	730	529	601	764
生命保険など	345	214	300	315	372	522
有価証券	234	148	197	243	198	384
金融機関外	39	5	8	15	44	122
貯蓄現在高	100.0	100.0	構成比(%) 100.0 100.0		100.0	100.0
金融機関	97.8	99.6	99.5	99.1	97.4	95.2
通貨性預貯金	28.1	28.0	24.5	27.7	29.1	30.2
定期性預貯金	36.7	44.6	44.6	34.8	35.0	29.8
生命保険など	19.7	16.0	18.3	20.7	21.7	20.3
有価証券	13.3	11.1	12.0	16.0	11.5	15.0
金融機関外	2.2	0.4	0.5	1.0	2.6	4.8
負債現在高	570	113	金額(万円) 226 643		840	1029
住宅・土地のための負債	518	86	205	585	777	937
住宅・土地以外の負債	36	21	10	36	43	70
月賦・年賦	16	6	11	22	20	22
負債現在高	100.0	100.0	構成比(%) 100.0 100.0		100.0	100.0
住宅・土地のための負債	90.9	76.1	90.7	91.0	92.5	91.1
住宅・土地以外の負債	6.3	18.6	4.4	5.6	5.1	6.8
月賦・年賦	2.8	5.3	4.9	3.4	2.4	2.1

(2) 勤労者世帯の貯蓄現在高は年間収入が高くなるに従って多い

二人以上の世帯のうち勤労者世帯について年間収入五分位階級別に1世帯当たり貯蓄現在高をみると、年間収入が最も低い第1階級(世帯主の平均年齢51.0歳)が834万円、年間収入が最も高い第5階級(同50.5歳)が2370万円となっており、年間収入が高くなるに従って貯蓄現在高が多くなっている。

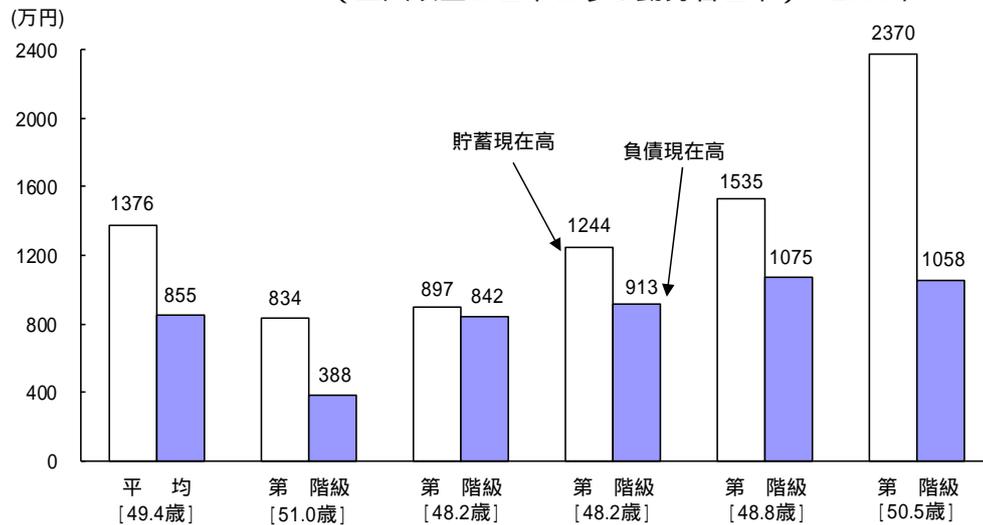
貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比をみると、通貨性預貯金は第1階級が33.4%と最も高く、第5階級が30.2%と最も低くなっている。定期性預貯金は第1階級が40.8%と最も高く、第5階級が28.4%と最も低くなっている。有価証券は第1階級が13.3%と最も高く、第5階級が6.5%と最も低くなっている。

負債現在高をみると、第1階級が388万円、第5階級が1058万円となっており、年間収入が高くなるに従って負債現在高が多くなる傾向にある。

(図 - 2 - 3, 図 - 2 - 4, 表 - 2 - 2)

図 - 2 - 3 年間収入五分位階級別貯蓄・負債現在高

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯) - 2019年 -



注) [ ]内は、世帯主の平均年齢

図 - 2 - 4 年間収入五分位階級，貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯) - 2019年 -

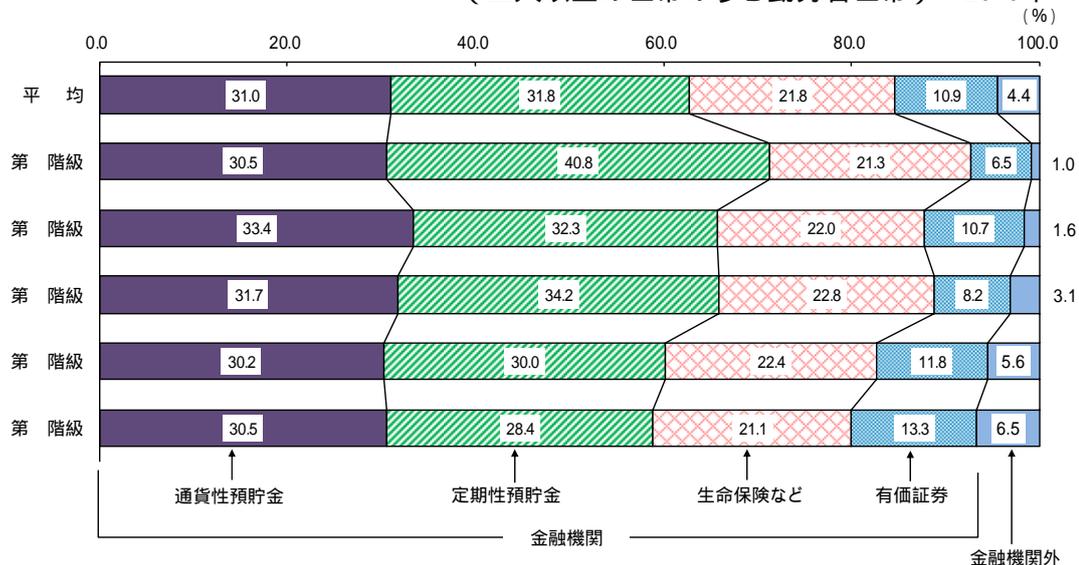


表 - 2 - 2 年間収入五分位階級，貯蓄・負債の種類別貯蓄・負債現在高

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯) - 2019年 -

項目	平均	第 階級	第 階級	第 階級	第 階級	第 階級
		~ 458万円	458 ~ 599万円	599 ~ 757万円	757 ~ 969万円	969万円 ~
世帯人員(人)	3.32	2.99	3.29	3.39	3.45	3.49
世帯主の年齢(歳)	49.4	51.0	48.2	48.2	48.8	50.5
持家率(%)	79.5	68.0	76.8	81.0	86.2	85.5
年間収入			金額(万円)			
	736	352	531	676	852	1270
貯蓄現在高			金額(万円)			
金融機関	1376	834	897	1244	1535	2370
通貨性預貯金	1316	826	883	1206	1449	2214
定期性預貯金	427	254	300	394	464	724
生命保険など	438	340	290	426	460	674
有価証券	300	178	197	284	344	500
金融機関外	150	54	96	102	181	316
	61	8	14	39	86	155
貯蓄現在高			構成比(%)			
金融機関	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
通貨性預貯金	95.6	99.0	98.4	96.9	94.4	93.4
定期性預貯金	31.0	30.5	33.4	31.7	30.2	30.5
生命保険など	31.8	40.8	32.3	34.2	30.0	28.4
有価証券	21.8	21.3	22.0	22.8	22.4	21.1
金融機関外	10.9	6.5	10.7	8.2	11.8	13.3
	4.4	1.0	1.6	3.1	5.6	6.5
負債現在高			金額(万円)			
住宅・土地のための負債	855	388	842	913	1075	1058
住宅・土地以外の負債	798	357	784	855	1008	985
月賦・年賦	36	15	33	38	43	52
	21	16	25	20	23	21
負債現在高			構成比(%)			
住宅・土地のための負債	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
住宅・土地以外の負債	93.3	92.0	93.1	93.6	93.8	93.1
月賦・年賦	4.2	3.9	3.9	4.2	4.0	4.9
	2.5	4.1	3.0	2.2	2.1	2.0

### 3 貯蓄現在高五分位階級別

貯蓄現在高が最も高い第 階級の世帯の有価証券の割合は約 2 割

二人以上の世帯について貯蓄現在高五分位階級別<sup>注</sup>に貯蓄・負債現在高をみると、貯蓄現在高が多くなるに従って、負債現在高は少なくなる傾向にある。貯蓄の種類別割合をみると、貯蓄現在高が低い階級では、通貨性預貯金の割合が高くなっている。一方、貯蓄現在高が高い階級では、定期性預貯金及び有価証券の割合が高くなっている。貯蓄現在高が最も高い第 階級についてみると、有価証券の割合は約 2 割となっている。

( 図 - 3 - 1 , 図 - 3 - 2 , 表 - 3 - 1 )

注) 貯蓄現在高五分位階級とは、貯蓄現在高の低い方から高い世帯へと順に並べて 5 等分したもので、低い方から第 1 階級、第 2 階級、第 3 階級、第 4 階級、第 5 階級 (五分位) 階級という。

図 - 3 - 1 貯蓄現在高五分位階級別貯蓄・負債現在高 (二人以上の世帯) - 2019年 -

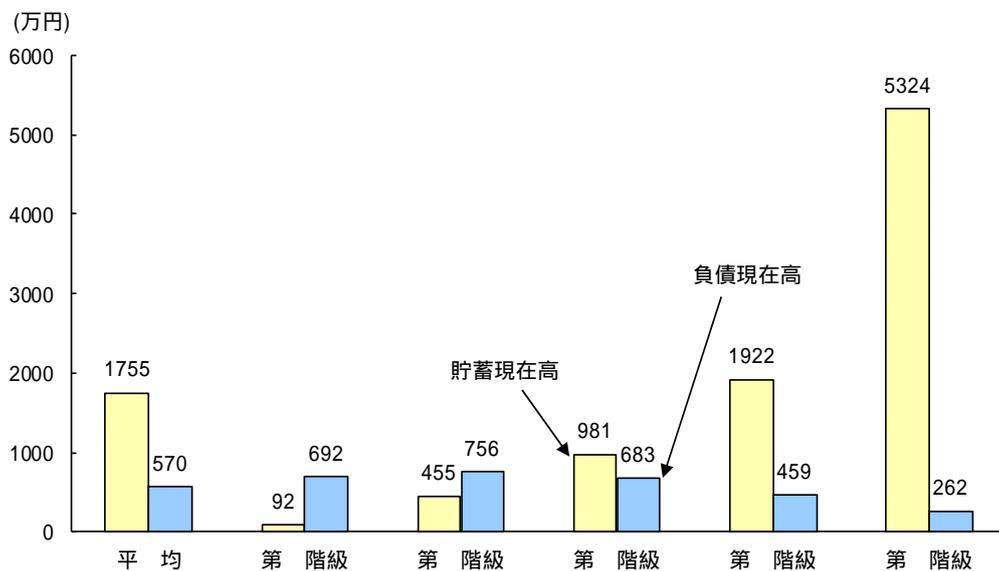


図 - 3 - 2 貯蓄現在高五分位階級，貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比

(二人以上の世帯) - 2019年 -

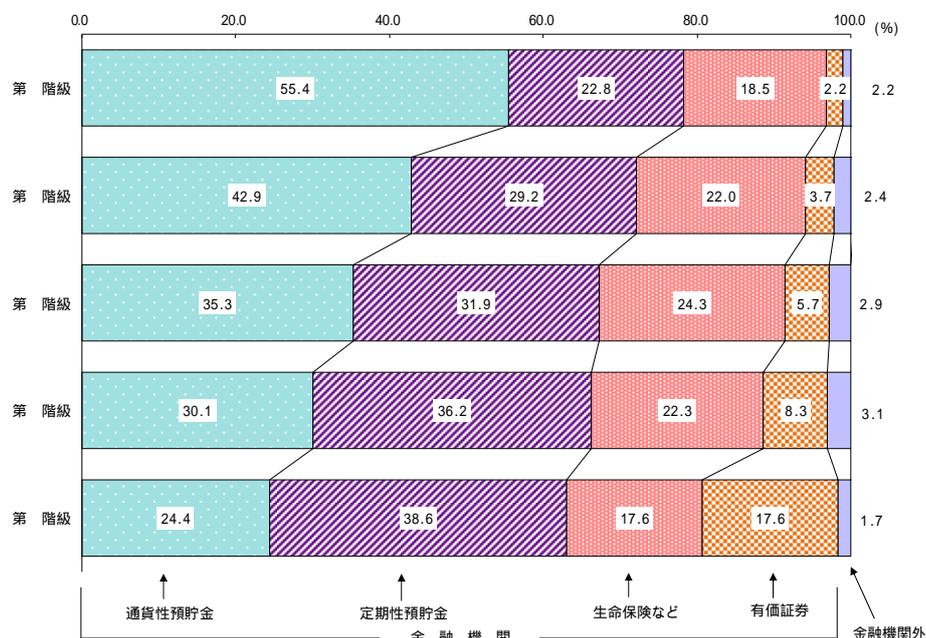


表 - 3 - 1 貯蓄現在高五分位階級，貯蓄の種類別貯蓄現在高（二人以上の世帯） - 2019年 -

項 目	平 均	第 階級	第 階級	第 階級	第 階級	第 階級
		~ 249万円	249 ~ 678万円	678 ~ 1348万円	1348 ~ 2702万円	2702万円 ~
金 額 (万円)						
貯 蓄 現 在 高	1755	92	455	981	1922	5324
金 融 機 関	1716	91	445	952	1862	5231
通貨性預貯金	494	51	195	346	578	1301
定期性預貯金	644	21	133	313	695	2056
生命保険など	345	17	100	238	429	939
有価証券	234	2	17	56	160	935
金 融 機 関 外	39	2	11	28	60	93
(参考)年間収入	629	497	577	634	670	768
構 成 比 (%)						
貯 蓄 現 在 高	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
金 融 機 関	97.8	98.9	97.8	97.0	96.9	98.3
通貨性預貯金	28.1	55.4	42.9	35.3	30.1	24.4
定期性預貯金	36.7	22.8	29.2	31.9	36.2	38.6
生命保険など	19.7	18.5	22.0	24.3	22.3	17.6
有価証券	13.3	2.2	3.7	5.7	8.3	17.6
金 融 機 関 外	2.2	2.2	2.4	2.9	3.1	1.7
構成比の対前年変化幅(ポイント)						
貯 蓄 現 在 高						
金 融 機 関	0.1	0.0	0.5	0.3	-0.3	0.1
通貨性預貯金	1.8	-0.6	2.9	1.3	2.9	1.6
定期性預貯金	-0.8	-0.3	-2.5	-1.6	-2.7	0.1
生命保険など	-1.0	0.9	-0.7	0.7	-0.5	-1.6
有価証券	-0.1	0.0	0.6	0.1	0.0	-0.1
金 融 機 関 外	0.0	0.0	-0.3	-0.4	0.3	-0.1

4 持家世帯（二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

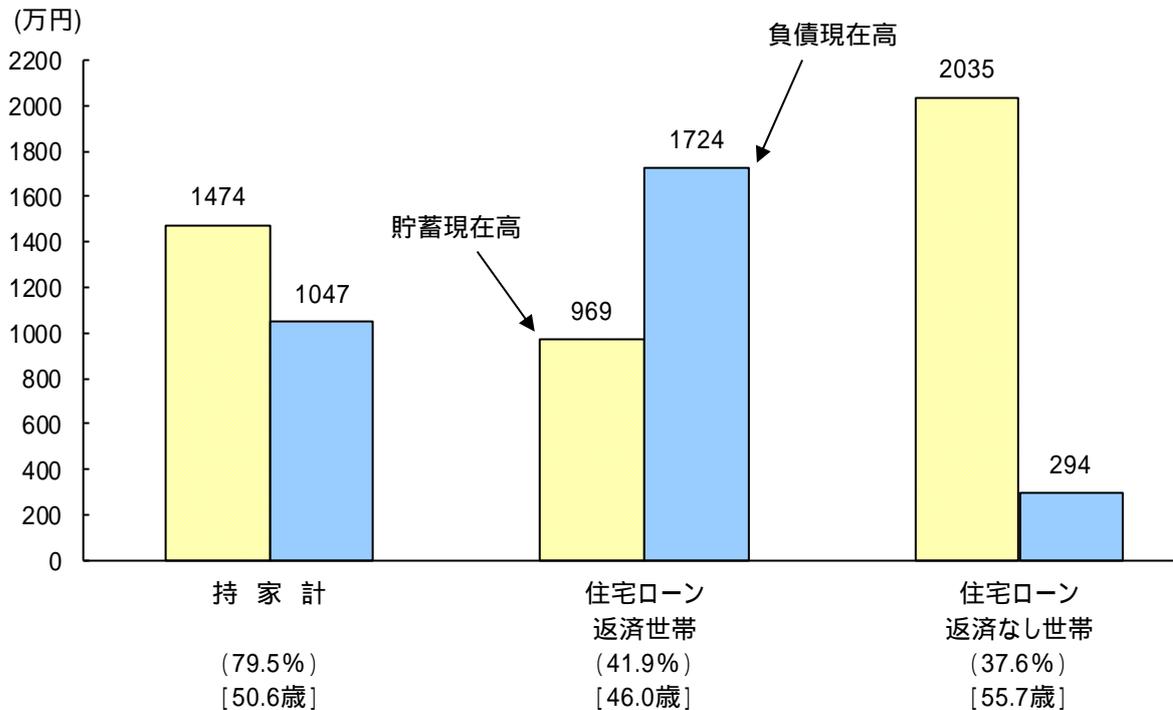
持家世帯のうち住宅ローン返済世帯の負債現在高は1724万円

二人以上の世帯の勤労者世帯のうち持家世帯（勤労者世帯に占める割合79.5%，世帯主の平均年齢50.6歳）について，住宅ローンの有無別に1世帯当たり貯蓄現在高をみると，住宅ローン返済世帯（同41.9%，同46.0歳）は969万円となっており，前年に比べ51万円，5.6%の増加となっている。住宅ローン返済なし世帯（同37.6%，同55.7歳）は2035万円となっており，前年に比べ14万円，0.7%の増加となっている。

同様に，負債現在高をみると，住宅ローン返済世帯は1724万円となっており，前年に比べ29万円，1.7%の増加となっている。住宅ローン返済なし世帯は294万円となっており，前年に比べ42万円，16.7%の増加となっている。

（図 - 4 - 1，表 - 4 - 1）

図 - 4 - 1 持家世帯の住宅ローンの有無別貯蓄・負債現在高  
（二人以上の世帯のうち勤労者世帯） - 2019年 -



注) 1 ( )内は，勤労者世帯に占める割合  
2 [ ]内は，世帯主の平均年齢

表 - 4 - 1 持家世帯の住宅ローンの有無別貯蓄・負債現在高の推移

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

年次	金額(万円)			対前年増減率(%)		
	持家計	住宅ローン返済世帯	住宅ローン返済なし世帯	持家計	住宅ローン返済世帯	住宅ローン返済なし世帯
	貯蓄現在高					
2014年	1462	903	2037	6.7	3.9	6.2
2015	1442	925	1962	-1.4	2.4	-3.7
2016	1424	906	1993	-1.2	-2.1	1.6
2017	1447	956	1962	1.6	5.5	-1.6
2018	1437	918	2021	-0.7	-4.0	3.0
2019	1474	969	2035	2.6	5.6	0.7
	負債現在高					
2014年	971	1677	244	2.6	5.0	4.3
2015	959	1671	243	-1.2	-0.4	-0.4
2016	981	1649	247	2.3	-1.3	1.6
2017	978	1690	231	-0.3	2.5	-6.5
2018	1016	1695	252	3.9	0.3	9.1
2019	1047	1724	294	3.1	1.7	16.7
	住宅・土地のための負債					
2014年	923	1611	215	3.9	6.3	6.4
2015	898	1585	207	-2.7	-1.6	-3.7
2016	909	1557	197	1.2	-1.8	-4.8
2017	919	1605	200	1.1	3.1	1.5
2018	950	1609	208	3.4	0.2	4.0
2019	984	1642	252	3.6	2.1	21.2
	世帯主の年齢(歳)					
2019年	50.6	46.0	55.7	-	-	-

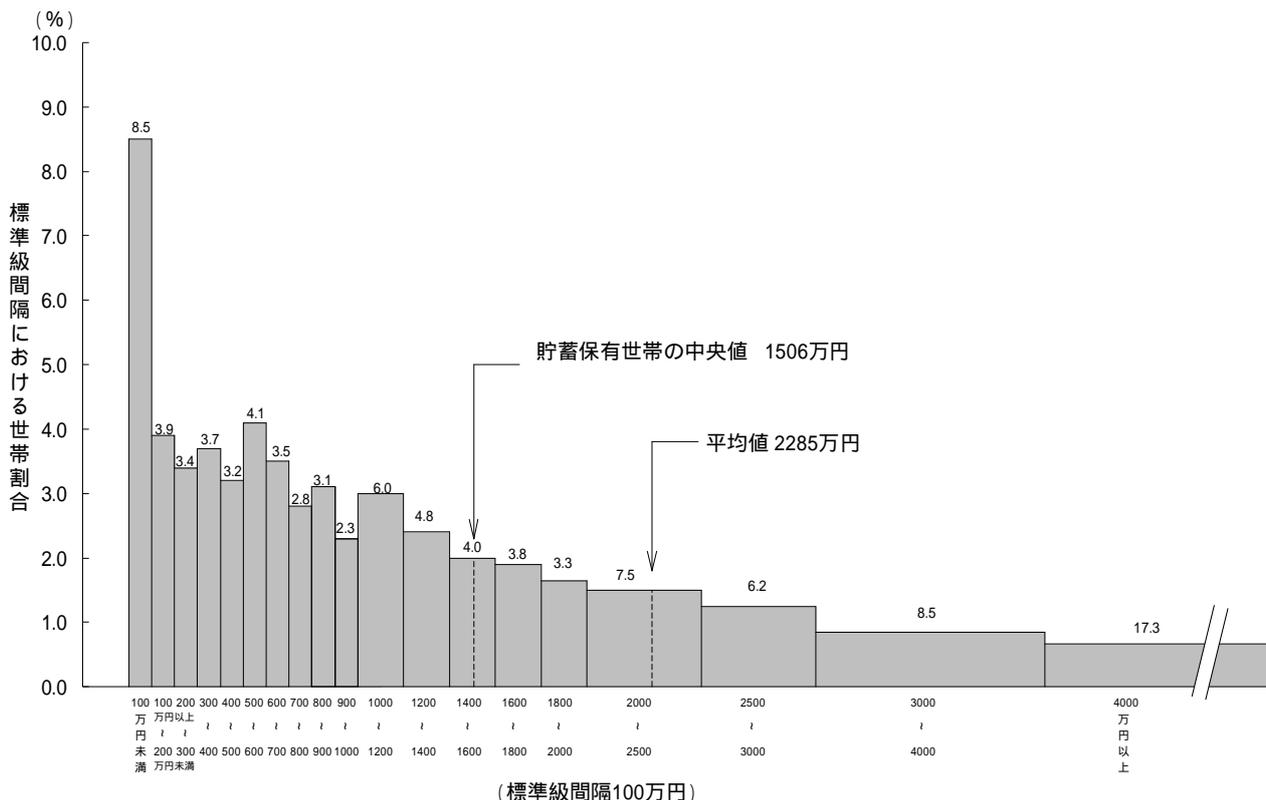
## 5 高齢者世帯

### (1) 高齢者世帯では貯蓄現在高が2500万円以上の世帯が約3分の1を占める

二人以上の世帯のうち世帯主が60歳以上の世帯(二人以上の世帯に占める割合51.0%。以下「高齢者世帯」という。)について貯蓄現在高階級の世帯分布をみると、二人以上の世帯全体と比べて、高齢者世帯では貯蓄現在高が高い階級にも広がった分布となっている。そのうち2500万円以上の世帯は全体の32.0%を占めている。一方で、300万円未満の世帯は全体の15.8%を占めている。

(図 - 1 - 3, 図 - 5 - 1, 表 - 5 - 1)

図 - 5 - 1 高齢者世帯の貯蓄現在高階級別世帯分布 (二人以上の世帯) - 2019年 -



注) 標準級間隔100万円(1000万円未満)の各階級の度数は縦軸目盛りと一致するが、1000万円以上の各階級の度数は階級の間隔が標準級間隔よりも広いため、縦軸目盛りとは一致しない。

貯蓄保有世帯の中央値とは、貯蓄「0」世帯を除いた世帯を貯蓄現在高の低い方から順番に並べたときに、ちょうど中央に位置する世帯の貯蓄現在高をいう。

表 - 5 - 1 貯蓄現在高階級別世帯分布 (二人以上の世帯) - 2019年 -

世帯分布	平均	(%)		
		300万円未満	300万円以上～2500万円未満	2500万円以上
二人以上の世帯	100.0	22.0	55.6	22.4
うち世帯主が60歳以上の世帯	100.0	15.8	52.3	32.0
うち世帯主が60歳未満の世帯	100.0	28.6	59.1	12.4

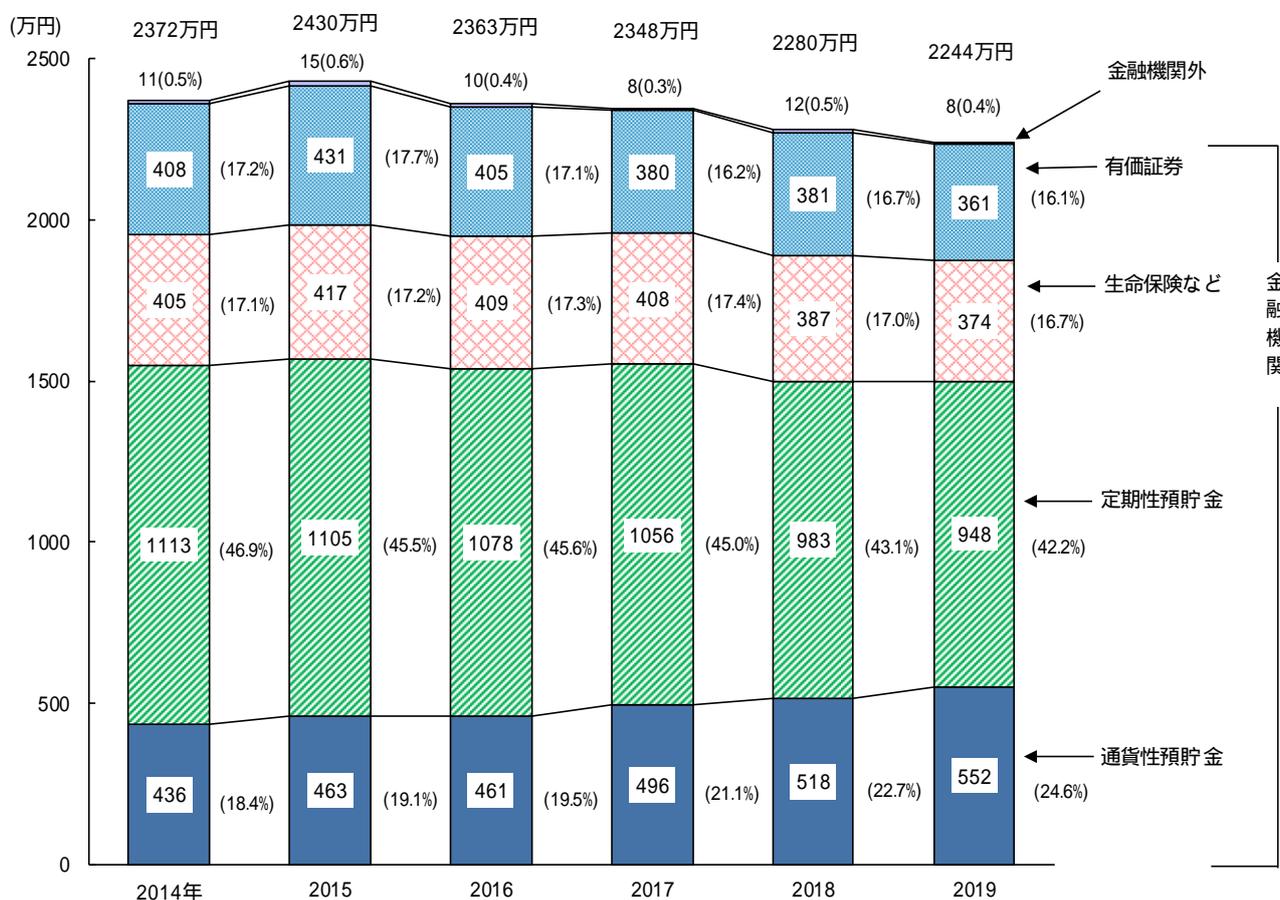
(2) 高齢無職世帯の定期性預貯金は948万円で前年に比べ3.6%の減少

二人以上の世帯のうち世帯主が60歳以上で無職の世帯（二人以上の世帯に占める割合32.5%。以下「高齢無職世帯」という。）の1世帯当たり貯蓄現在高は2244万円で、前年に比べ36万円、1.6%の減少となり、4年連続の減少となっている。

貯蓄の種類別に1世帯当たり貯蓄現在高をみると、定期性預貯金が948万円と最も多く、次いで通貨性預貯金が552万円、「生命保険など」が374万円、有価証券が361万円、金融機関外が8万円となっている。また、前年と比べると、定期性預貯金が35万円、3.6%の減少、「生命保険など」が13万円、3.4%の減少などとなっている。

(図 - 5 - 2, 表 - 5 - 2)

図 - 5 - 2 高齢無職世帯の貯蓄の種類別貯蓄現在高の推移（二人以上の世帯）



注) ( )内は、貯蓄現在高に占める割合

表 - 5 - 2 高齢無職世帯の貯蓄の種類別貯蓄現在高の推移（二人以上の世帯）

年次	貯蓄現在高	金融機関				金融機関外	
		通貨性預貯金	定期性預貯金	生命保険など	有価証券		
金額(万円)							
2014年	2372	2362	436	1113	405	408	11
2015	2430	2416	463	1105	417	431	15
2016	2363	2353	461	1078	409	405	10
2017	2348	2340	496	1056	408	380	8
2018	2280	2269	518	983	387	381	12
2019	2244	2236	552	948	374	361	8
構成比(%)							
2014年	100.0	99.6	18.4	46.9	17.1	17.2	0.5
2015	100.0	99.4	19.1	45.5	17.2	17.7	0.6
2016	100.0	99.6	19.5	45.6	17.3	17.1	0.4
2017	100.0	99.7	21.1	45.0	17.4	16.2	0.3
2018	100.0	99.5	22.7	43.1	17.0	16.7	0.5
2019	100.0	99.6	24.6	42.2	16.7	16.1	0.4
対前年増減率(%)							
2015年	2.4	2.3	6.2	-0.7	3.0	5.6	36.4
2016	-2.8	-2.6	-0.4	-2.4	-1.9	-6.0	-33.3
2017	-0.6	-0.6	7.6	-2.0	-0.2	-6.2	-20.0
2018	-2.9	-3.0	4.4	-6.9	-5.1	0.3	50.0
2019	-1.6	-1.5	6.6	-3.6	-3.4	-5.2	-33.3